

科目名 (科目番号)	卒業研究 (時間割参照)	教員名	柴山修司 他 臨床検査学科教員	学科等	臨床検査	選択	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	4	
				授業形態	演習	オフィスアワー	各担当教員シラバス参照	
授業概要	将来、臨床現場で遭遇する様々な問題に対処できるように、卒業研究の調査・実験・分析・解析・考察などを通して、問題解決能力に係わる基本的知識、技能、態度を修得する。従って、研究目的に沿った実験手順を作成する。計画に沿って、正しく実験、調査する。得られた実験結果を適切に解釈する、調査研究に必要な文献を検索する、などの能力を習得する。研究結果を、適切な方法で社会へ公表することができることを目指す。							
目的・目標	目的:卒業研究を行うことにより、検査を行う上で必要な問題点の発掘、探求、解決能力を得ること。 目標:過去の文献を調べて研究テーマを設定し、計画を作成・実行し、論文としてまとめること。							
準備学習								
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
	到達目標: 卒業研究を実施すること、すなわち研究としての理論構築、実験、調査などの実施により、自ら問題点を発見し、探求し、解決する能力を養う。具体的には、①研究テーマを設定できること、②研究仮説を設定できること、③研究計画書を作成して研究を遂行できること、④研究成果の整理ができること、⑤データ解析において統計処理を行うことができること、⑥研究論文の形式にまとめることができること、そして⑦研究発表を行うことができるようになることを目標とする。							
	学習内容: 学生がこれまで学んできた臨床検査の知識と技術を考慮して、担当指導教員と十分に相談して研究テーマを決定する。テーマに関する国内外の文献を講読した後、担当指導教員の指導により研究目的を設定して、研究計画を立案する。自主的に卒業研究を実施し、得られた研究成果を総括して、考察を加えて結論を得る。指導教員は、得られた研究成果の解釈および考察において助言を与えることで卒業研究を支援する。卒業研究をまとめてわかりやすく口頭発表ができるための指導、研究の概要を抄録としてまとめるための指導、論文を作成するための指導を受ける。							
	卒業研究テーマ 1)老人斑染色の検討(富銘良也) 2)微量異型混在赤血球の検出法の検討(柴山修司) 3)超音波検査に関する研究、その他生理機能検査に関する研究(飯田典子) 4)薬剤耐性菌に関する研究、その他微生物に関する研究(鴻巣麻子) 5)認知症、障害に関する調査研究(山本哲也) 6)学生生活等に関する調査研究(山本哲也) 7)抗DNA抗体が好中球の機能におよぼす影響について(窪田哲朗) 8)教育シミュレータの開発:細胞数計数、試験紙判定など(稲田政則) 9)臨床化学項目の測定系開発:アスコルビン酸定量など(稲田政則) 10)アンケートの統計分析:睡眠、ストレスなど(稲田政則) 11)歯周病菌の研究(山口孝一) 12)低比重好中球の研究(山口孝一) 13)血小板FCMの研究(山口孝一) 14)クロム酸を使用しない真菌染色の検討(伊藤慶) 15)ケルエヒトロート液の染色性回復法の検討(伊藤慶) 16)遺伝的肌研究(伊藤慶) 17)細胞培養を用いたmTOR関連分子の機能研究(伊藤慶) 18)免疫組織染色を用いた標的分子探索(伊藤慶) など							
成績評価の方法・基準	研究課題について、積極的に検索し、実験し、結果を論文にまとめ、発表するという一連の過程への取り組みを総合的に評価する。							
教科書	なし							
参考図書	関連する論文等を指示する。							
教員からのメッセージ	研究は実習とは異なるので、自主的、積極的、かつ粘り強く検索、考察する努力が必要です。							